

《実践法務・システム監査研究講座》

# 内部統制におけるシステム監査の役割

～企業経営におけるIT・コンプライアンス経営・ガバナンスの納得性の推進～

■ 日 時 ■ 2016年 8月1日(月) 13:00～17:00

■ 会 場 ■ 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) TEL:03-5215-3511

■ 講 師 ■ 稲垣隆一法律事務所 弁護士・公認システム監査人 稲垣 隆一氏

昭和53年早稲田大学法学部卒。元検事。平成2年からは弁護士として企業・個人の利益擁護に取り組みつつ、法律事務所では唯一ISMS認証を取得・更新3回、国ではNISCの立ち上げ、内閣官房情報セキュリティ政策会議重要インフラ専門委員会委員、経済産業省ではセキュリティ監査制度の設計、システム管理基準改定に参加、総務省、警察庁などの研究会委員を歴任。JSSA 情報システム監査学会元副会長・現理事・個人情報保護専門監査人、ISMS 運営委員会委員、同元主任審査員、公認システム監査人登録、JASA 顧問としてシステム監査、情報セキュリティや、内部監査部門の制度設計や運用、企業不祥事対応を担う。情報システム監査、開発関連紛争、内部監査、情報コンプライアンス、セキュリティ監査分野の第一人者。情報セキュリティ、個人情報保護法に関する著書多数。

■ 講 師 ■ (有)インターギデオン代表、システム監査学会理事 川辺 良和氏

1980～88年日本鉱業(株)(現JXホールディングス)情報システム部、1989年(有)インターギデオン設立、1991年経済産業省登録システム監査企業、2002年公認システム監査人CSA特別認定講習実施機関認定  
資格: ISMS主任審査員、公認システム監査人、特種・システム監査技術者、プロジェクトマネージャ、  
著書: システム監査基準解説書(共著: 経済産業省監修)、プライバシーマーク監査ガイドライン(JIPDEC)  
システム監査入門(共著: コンピュータエイジ)、システム監査午後重点対策(アイテック)等多数。

## ◆ 開催にあたって

サイバー攻撃、内部犯行、地震やゲリラ豪雨などの自然災害による情報の破壊などリスクが多様化し、重要情報の漏えい・改竄、破壊などリスクの顕在化が社会問題となっています。この傾向は、NISAやマイナンバー等の制度の展開、スマホやSNS、クラウドの目覚ましい普及、基幹業務の多くがシステム化されている状況を踏まえると、ガバナンスや内部統制からも有効なセキュリティ対策やモニタリングが欠かせない状況は言うまでもありません。

本セミナーでは、稲垣弁護士の豊富な経験を通して経営者にとってガバナンスや内部統制におけるシステム監査の重要性を、IT出身で25年のシステム監査経験の川辺システム監査人からシステム監査の実施やモニタリングの手引きをお話して頂きます。是非、関係各位のご参加をお勧め申し上げます。

企業研究会セミナー事務局 福山行 FAX03-5215-0951～2

### ●受講料●1名 <税込、資料代含む>

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

\*会員企業は、こちらでご確認いただけます。

<http://www.bri.or.jp>

申込書をFAX又はE-mailでお送り下さい。

受信確認後、受講票・請求書をお送りします。

\*申込書をFAXで送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

一般社団法人 企業研究会 事業開発部

担当: 福山 E-mail: fukuyama@bri.or.jp

〒102-0083

千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE2F

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

\*お申込書に記入頂いた個人情報は、研究会に関する確認・連絡、及び当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

\*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、何卒、ご了承ください

161425-0303	2016.8.1
[申込書] 内部監査におけるシステム監査の役割	
会社名	フリガナ
住所	〒
TEL	FAX
e-mail	
ご氏名	フリガナ
	所 属 役 職

\*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

8月1日(月)

講演1部

13:00

## 『ガバナンスに欠かせないシステム監査』

■ 稲垣隆一法律事務所 弁護士・公認システム監査人 稲垣 隆一氏

情報システムは、事務系・業務系・制御系の業務処理システムにとどまらず、業務や商品開発、経営管理、コンプライアンス経営、不祥事処理に不可欠のインフラとなっている。システム開発はいわば経営全体の課題である。 弁護士として、こうした相談に応じ、システム調達を支援し、システム開発紛争、そして、不祥事処理にあたっていると、システムの企画、開発、運用、保守それぞれのフェイズで、目的との関係で適切な内部統制・管理が行われていないことに気づかされる。システム監査は、まさにこの管理の役割を担う。こうしたシステム監査を実現し、人材を育成する上での課題は何か。受講者とともに考えるセミナーにしたい。

1. 企業経営と情報システム
2. システム調達紛争
3. システム調達におけるシステム監査の役割
4. ガバナンス・内部統制におけるシステム監査
5. 今後のシステム監査導入・実施

14:50

(休憩)

講演2部

15:00

## 『システム監査導入と効果的実施の手引き』

■ (有)インターギデオン代表、システム監査学会理事 川辺 良和氏

ガバナンス・内部統制にとってシステム監査が有効性であるという稲垣弁護士の講演を踏まえ、本講演では、システム監査とは何かから始まり、システム監査の対象領域と監査テーマ、システム監査の実施プロセス、システム監査の実施ポイントをお話させていただきます。

監査部門に対する具体的なシステム監査導入のポイント、情報システム部に対しては、当事者としての点検、自主点検チェックリストについて、実際のキーワードをベースにしてお話します。

合わせて、システム監査人の育成のポイントについてご一緒に考えていきたいと思えます。

1. 内部監査部門、情報システム部門におけるシステム監査の現状
2. そもそもシステム監査とは
3. システム監査の対象領域と監査テーマの設定
4. システム監査の実施プロセス
5. システム監査のチェックポイント
6. 効果的なシステム監査の導入方法と中期計画
7. システム監査人育成について

17:00